

学生大使 実施報告書

氏名：若山向日葵

学部・学科（コース）・学年：医学部・看護学科・1年

派遣先大学：新モンゴル学園

派遣期間：2024年2月26日～2024年3月11日

1 日本語教室での活動内容

私は新モンゴル学園の高校12年生に日本の大学生活についての授業を行った。特に、大学の授業や部活、大学の長期休みの過ごし方を中心に授業を行った。新モンゴル学園の人達は積極的に授業に取り組んでおり、日本語が上手な生徒が得意ではない生徒に日本語を教えていたり、授業中に疑問があった場面ではすぐに質問してくれたり、日本の高校の授業の雰囲気違って、とても良いと感じた。

また私は小学5年生に折り紙とあやとりの授業を行った。小学生は元気があり、笑顔で授業を聞いてくれた。新モンゴル学園の英語の教育が進んであり、すべて英語で授業を行ったが、みんな理解できておりとても驚いた。日本の文化にとっても興味をもっており、家に帰ってからやりたいたいと思ってくれる生徒もいた。

高専の日本語の授業に参加した。日本語のレベルに合わせて三つのクラスに分けられていた。私は上級レベルと中級のレベルに参加した。上級では文法の授業を行っており、日本ではこのような授業が行われたことがなかったため、とても新鮮だった。文法の授業はとても難しく、なぜこのような形になるのかと聞かれたらうまく説明することが難しいと思う。中級のクラスでは日本語でクラスメイトと話す授業だった。発音が日本人のようにきれいでも驚いた。

2 日本語教室以外での交流活動

私たちが新モンゴル学園に滞在している期間に、日本語祭りが行われていた。そこでは新モンゴル学園の日本語クラブの生徒たちと一緒に出し物の手伝いを行った。私は書道を教えたり、おにぎりを作って学生に人たちに提供したりした。日本の文化や料理を知ってもらいたいと思って頑張っている新モンゴル学園の生徒たちをみて、とてもうれしくなった。

新モンゴル学園工科大学生の人達にモンゴルを案内していただいた。山形大学生に日本語を使いながら、優しくくわしくモンゴルの観光案内やモンゴルの歴史、文化を教えていただいた。

3 参加目標への達成度と努力した内容

私は今回の「学生大使」派遣プログラムでモンゴルの人達に日本に興味を持ってもらえるような授業をすることを目標にしていた。この目標は80パーセント達成されたと思う。私が担当した12年生は日本留学をしたいと思っている生徒が集まっているクラスもあり、

【学生大使 実施報告書】

「日本の大学生生活」についての授業を行ったことはとてもよかったと思っている。また私が授業を行ったあと、生徒たちが私の周りに集まってきて、「大学受験頑張ります」「日本の大学生生活楽しそうです」と言ってくれてとてもうれしかった。なぜ80パーセントかという、日本語の授業を受けることをやめてモンゴルの大学に受験に専念しているクラスがあり、そのクラスではうまく授業を盛り上げることができず、そこがとても悔しかった。

「学生大使」派遣プログラムで努力したことは、新モンゴル学園の生徒たちに積極的に関わろうとしたことだ。私はモンゴルで友達を作りたいと思っており、授業が終わった後や日本語祭りの手伝いの中で、積極的に話しかけた。このことを行っていく中で、日本人と話してみたいと思っているモンゴルの学生の人達が増えていき、たくさんの生徒たちと話すことができた。

4 プログラムに参加した感想

私は「学生大使」派遣プログラムに参加して、たくさんのことを体験することができた。特にホームステイしたことはとても良い経験だった。ホストファミリーはみんな自分の家族のように接してくれて、とてもうれしかった。また、ガンダン寺院に連れて行ってくれたり、ゲルに行って羊や馬のなどを見せてもらったりした。日本ではできない体験ができとても興味深かった。

またモンゴルの学生と交流することで様々な刺激が得られた。モンゴルの学生はモンゴル語、日本語、英語を同時進行で勉強しており、グローバルに対応できるよう勉強していた。特に日本語と英語の教育のレベルに驚いた。英語については日本では writing に力を入れており、高校受験や大学受験で合格できるように勉強している。逆にモンゴルは speaking に力を入れており、将来英語を使って仕事ができるように勉強を行っていた。私のホストファミリーの息子は小学五年生で、日本の高校一年生レベルくらいまで話すことができていた。このレベルの差に驚いた。確かに writing の授業も大切だが、日本も speaking の授業を取り入れた方が良いと思った。また、私もこの刺激を受けて英語の勉強を頑張ろうと思った。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

私は今回の「学生大使」派遣プログラムをへて、モンゴルの人達と交流することで新たな考え方が生まれた。そしてほかの国の人たちとも交流してみたいと思った。私の周りにはアジア圏の友達が多く、今回のモンゴルでも感じたが、日本人とアジア圏の人達は考え方が似ており、一緒にいて楽しく感じた。まだヨーロッパ圏やアメリカの方の友達が少ないので、交流してみたい。そのため今年の夏はヨーロッパやアメリカの方に行ってその国の人達と交流したい。そしていろいろな考え方を知りたい。先ほども述べたように英語の勉強特に speaking の勉強を頑張ってきたいと強く感じた。そしてほかの国に行っても、スムーズに会話できるようになりたい。

6 現地での活動写真

ゲル



モンゴルゲルでの歓迎の料理



【学生大使 実施報告書】

新モンゴル学園の学食



日本語祭りの準備

